

福井県感染症発生動向調査速報

＜＜令和2年＞＞

＜週報＞ 第35週（令和2年8月24日～8月30日）

発行日：令和2年9月2日

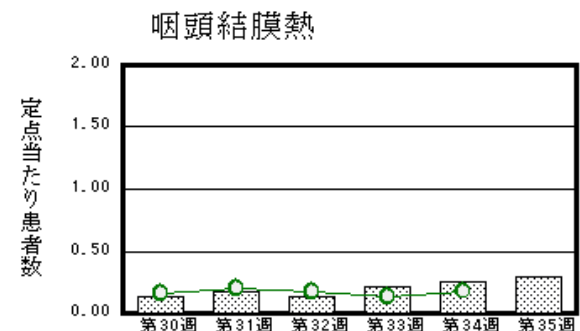
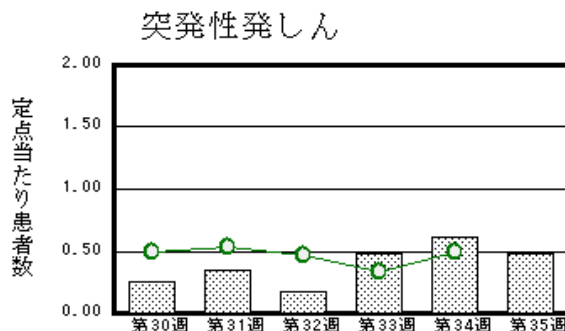
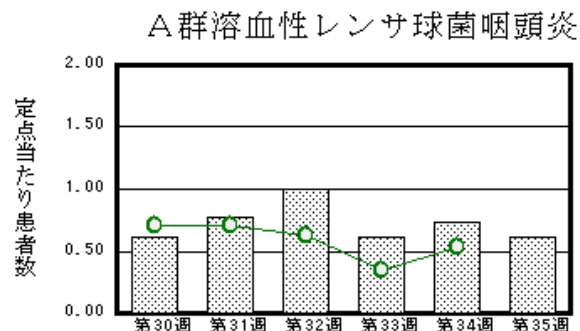
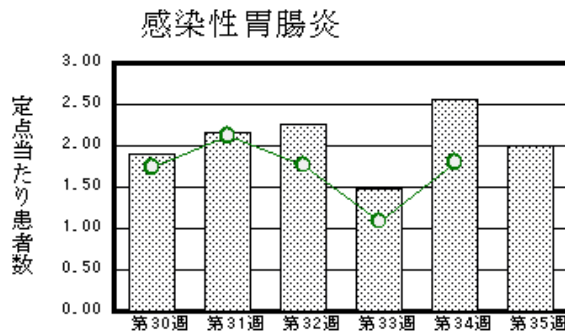
発行：福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎46名(2.00名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎14名(0.61名) ③突発性発しん11名(0.48名) ④咽頭結膜熱7名(0.30名) ⑤細菌性髄膜炎1名(0.17名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(46名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(14名) ③突発性発しん(11名) ④咽頭結膜熱(7名) ⑤水痘(3名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は46名です。定点当たり報告数は減少しました(2.57名→2.00名)。地域別にみると、丹南地区2.60名、福井市地区2.43名、二州地区2.33名、若狭地区2.00名、坂井地区1.33名、奥越地区0.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は14名です。定点当たり報告数は減少しました(0.74名→0.61名)。地域別にみると、二州地区1.33名、若狭地区1.00名、福井市地区0.71名、坂井地区0.67名、丹南地区0.20名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は11名です。定点当たり報告数は減少しました(0.61名→0.48名)。地域別にみると、若狭地区1.50名、坂井地区0.67名、奥越地区0.50名、丹南地区0.40名、二州地区0.33名、福井市地区0.29名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は7名です。定点当たり報告数は増加しました(0.26名→0.30名)。地域別にみると、奥越地区1.00名、二州地区1.00名、丹南地区0.20名、福井市地区0.14名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2020年第33週号(8月10日～8月16日)

発生動向総覧	＜第33週＞感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した
注目すべき感染症	＜今週は該当記事はありません＞
感染症関連情報	<ul style="list-style-type: none"> ◆病原体情報 病原微生物検出情報(IASR) ＜速報記事＞(8/14更新)新型コロナウイルス感染症における積極的疫学調査の結果について(第1回)(2020年6月3日時点:暫定) ◆海外感染症情報 厚生労働省検疫所(FORTH) ◆その他 新型コロナウイルス感染症関連情報について/風疹に関する疫学情報(2020年8月19日現在)
速報	＜今週は該当記事はありません＞

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
 - 2 類感染症：結核（坂井1名、丹南1名）の報告がありました。
 - 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症（丹南1名）の報告がありました。
 - 4 類感染症：レジオネラ症（丹南1名）の報告がありました。
 - 5 類感染症全数把握対象：ウイルス性肝炎（奥越1名）の報告がありました。
- 指定感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市40名、坂井2名、丹南17名）の報告がありました。

類型	病名	年齢							
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	
2類	結核			1					1
3類	腸管出血性大腸菌感染症		1						
4類	レジオネラ症								1
5類	ウイルス性肝炎				1				
指定感染症	新型コロナウイルス感染症		1	2	4	5	3		44

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和2年 第35週 令和2年8月24日(月)～令和2年8月30日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(34週)
インフルエンザ (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										
小児科 (23)	RSウイルス感染症										96 0.03
	咽頭結膜熱	1 0.14			2 1.00	1 0.20	3 1.00		7 0.30	6 0.26	578 0.18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 0.71		2 0.67		1 0.20	4 1.33	2 1.00	14 0.61	17 0.74	1664 0.53
	感染性胃腸炎	17 2.43		4 1.33	1 0.50	13 2.60	7 2.33	4 2.00	46 2.00	59 2.57	5651 1.80
	水痘	1 0.14				1 0.20		1 0.50	3 0.13		362 0.12
	手足口病	1 0.14						1 0.50	2 0.09	3 0.13	519 0.17
	伝染性紅斑										27 0.01
	突発性発しん	2 0.29		2 0.67	1 0.50	2 0.40	1 0.33	3 1.50	11 0.48	14 0.61	1543 0.49
	ヘルパンギーナ									2 0.09	1295 0.41
	流行性耳下腺炎	2 0.29							2 0.09	2 0.09	173 0.06
眼科 (3)	急性出血性結膜炎										6 0.01
	流行性角結膜炎		*	*	*		*	*			173 0.25
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50							1 0.17		4 0.01
	無菌性髄膜炎										8 0.02
	マイコプラズマ肺炎										30 0.06
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		*	*							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										2 0.00
	インフルエンザ(入院患者数)										※1

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

※1は、2019/2020シーズンの全国の集計は第14週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和2年第35週 令和2年8月24日(月)～令和2年8月30日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月											～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月					1			6			～11ヶ月									
1歳		1歳		4		7				4			1歳									
2歳		2歳		1	1	5	1						2歳									
3歳		3歳		1		4	1			1		1	3歳									
4歳		4歳		1	1	2							4歳									
5歳		5歳			5	7		1				1	5歳									
6歳		6歳			3	2							6歳									
7歳		7歳			1	3							7歳									
8歳		8歳			2								8歳									
9歳		9歳				4							9歳									
10～14歳		10～14歳			1	7		1					10～14歳									
15～19歳		15～19歳				2							15～19歳									
20～29歳		20歳以上				3							20～29歳									
30～39歳													30～39歳			1						
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合 計		合 計		7	14	46	3	2		11		2	合 計			1						
前期計		前期計		6	17	59		3		14	2	2	前期計									
当期間/前期	***	当期間/前期	***	1.17	0.82	0.78	***	0.67	***	0.79		1	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		1	-3	-13	3	-1		-3	-2		増減数			1						

***は前期計が"0"のとき